

芸閣

～図書館だより～

第3号
2017年7月

桐蔭図書館発行



～～ 生徒図書充実委員会報告 ～～

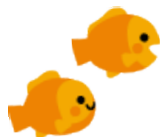
6月7日、私たちは和歌山北高校で行われた生徒図書充実委員会に参加してきました。今回は紀伊風土記の丘の学芸員さんに「和歌山県の歴史について」というテーマで講演していただき、古代の人々の暮らしと和歌山県にある遺跡について学びました。土偶、貝塚、竪穴住居など歴史の教科書に載っているようなものがとても身近な場所でも発見されていることを知って驚きました。また実際にいくつかの土器や装飾品も見せていただくことができ、遺跡や和歌山について知る良い機会になりました。

3D 森

先日、第二ブロック生徒図書充実委員会に参加してきました。委員会では年二回、和歌山市の学校図書委員が集まり、講演を聞いたり、それぞれの図書館での活動報告や交流会を行っています。今年は紀伊風土記の丘の学芸員の方を講師に招き、和歌山にある遺跡や、発掘された土器についてなど、いろいろな話をお聞きしました。実際に土器や石器(レプリカ含む)を触らせてもらうこともできました。土器によってさわり心地が違って面白かったです。また、活動報告では他の図書館での取り組みを知ることができました。今後の活動に活かせたらいいと思います。

3E 丸山

- ・読書感想文コンクールには、課題読書の部、自由読書の部があります。
- ・読書感想文は国語科の先生に提出してください。



(裏面に新着図書を紹介しています)

土用の丑の日

夏の土用(立秋の前の約18日間)は最も暑さが厳しいころで、「丑の日に『う』のつくものを食べると夏負けしない」という伝承があります。「うなぎ」を食べるのは有名ですが、他に「うどん」「梅干し」「瓜」など……。これらを食べて、夏ばてを予防しましょう。今年の夏の土用の丑の日は2回あります。(7月25日、8月6日)

第63回青少年読書感想文全国コンクール 課題図書

[高等学校]

『フラダン』 古内一絵 著 (小峰書店)

『ストロベリーライフ』
荻原弘 著 (毎日新聞出版)

『犬が来る病院』
命に向き合う子どもたちは教えてくれたこと』
大塚敦子 著 (KADOKAWA)

第63回青少年読書感想文全国コンクール 課題図書

[中学校]

『円周率の謎を追う』
江戸の天才数学者・関孝和の挑戦』
鳴海風 著 (くもん出版)

『ホイッパーウィル川の伝説』
キャシー・アップルト&アリスン・マギー著
吉井知代子 訳 (あすなろ書房)

『月はぼくらの宇宙港』
佐伯和人 著 (新日本出版社)

《図書館員の夏休み読書案内》

こんにちは。梅雨でじめじめして、暑くなってきました。もうすぐ夏休みです。宿題だったり、補習だったり、遊んだり…となんだかんだ忙しい夏休み。読書をする暇がない貴方におすすめの本を紹介します。

『真夜中の図書館』シリーズ

ニック・シャドウ 著 (ゴマブックス)

短編のホラー小説です。ひとつひとつの話は短いので、勉強の息抜きにピッタリです。暑い時に読めば涼しくもなるはずです。ぜひ読んでみてください。

夏休みを利用していっぱい本を読んで楽しみましょう！

3E 河合

前の方が季節について説明してくれていたもので、いきなり本の紹介から入りたいと思います。

『物理数学入門』 谷島賢二 著

(東京大学出版会)

物理……多くの方が苦労している教科ではないでしょうか。ですが、私は物理が大好きです。現実世界のほとんどすべての現象は物理が裏にあります。そんな物理を少しでも楽しく、わかりやすく理解するのが「物理数学」だと私は考えています。

物理を選んでいない人でも、キハジ(距離・速さ・時間)の関係については知っているのではないのでしょうか。その三つの数にはどのような関係があるのか……また物理では加速度という数値も出てきます。これらはすべて物理数学を使って説明することができます。たとえば、物理の公式は物理数学を理解すれば今後の物理は安泰間違いなし！

物理を選択していない方には関係ない……そんなことはありません。先ほども言ったように物理というものは日常生活にちりばられています。これを機に、物理という視点から日常生活をみつめてみると、また違った世界が広がっていると思います。

3G 金森

新 着 図 書

『カエルの楽園』 百田尚樹 著 新潮社

『フォルトゥナの瞳』 百田尚樹 著 新潮社

『生き抜くための高校数学』

芳沢光雄 著 日本図書センター

『心が折れそうなおとこに力を与える奇跡の

言葉』 ひすいこたろう 著 SBクリエイティブ

『「凛とした魅力」がすべてをかえる』

ジェニファー・L・スコット 著 大和書房

『いい文章には型がある』 吉岡友治 著 PHP研究所

『世界が記憶であふれる前に』 岡本貴也 著 小学館

『夜空はいつでも最高密度の青色だ』

最果タヒ 著 リトルモア

『できる人の英語勉強法』

安河内哲也 著 KADOKAWA

『E 高生の奇妙な日常』 田丸雅智 著 角川春樹事務所

『18 歳からの選択』

上木原弘修ほか 著 フィルムアート社

『外資系企業がほしがる脳ミソ』

キラン・スリニヴァス 著 ダイヤモンド社

『不思議で美しい「空の色彩」図鑑』

武田康男 著 PHP研究所

『ひるなかの流星』 やまもり三香 著 集英社

『かがみの孤城』 辻村深月 著 ポプラ社

『はじめての哲学的思考』 苫野一徳 著 筑摩書房

『先生は教えてくれない大学のトリセツ』

田中研之輔 著 筑摩書房

『ナビラとマララ』 宮田律 著 講談社

『もし文豪たちがカップ焼きそばの作り方を

書いたら』 神田桂一ほか 著 宝島社

『男尊女子』 酒井順子 著 集英社

『ビジネスマナーの解剖図鑑』

北条久美子 著 エクスナレッジ

『ムロ本』 ムロツヨシ 著 ワニブックス

『はじめての哲学的思考』 苫野一徳 著 筑摩書房